

ミュージカル

寢屋のはちかづき

はちかづき旋風 拡大中！

平成25年度から開催している公演も4回目！これまで約8,000人もの観客を動員しました。

※写真は昨年の様子です。



市民の皆さんに上質な芸術文化に触れてもらうため、市にゆかりのある民話「はちかづき姫」を題材とした本格的なミュージカルを開催します。

宝塚歌劇団の作品を手がける中村暁さんの演出の下、キャストやスタッフ全員が力を合わせ、子どもから大人まで楽しめるミュージカルに創り上げました。特に音楽は、2台の電子オルガンによる迫力の生演奏を実現しています。

一般公演のほか、市内全小学校4年生約2000人を無料で招待しています。日頃なかなか触れることがない舞台芸術の鑑賞を通して、地域文化の伝承や児童の感性の育成、芸術活動へのきっかけづくりを進めています。

昨年招待した 小学生の感想



歌や踊りの
上手さに驚いた

将来は自分も舞台
に立ってみたい

公演で物語を初めて
知り、本を読んでみ
たくなった





一般公演

日時

3月4日(土)

①午前11時 ②午後2時

※開場はいずれも1時間前です。

入場料

3,000円

場所

アルカスホール (全席自由)

発売場所

文化スポーツ室、アルカスホール

※定員に満たないときは、当日会場でも販売します。



「先行試演会」を
開きます

ミュージカルの一般公演
に先駆けた試演会に招待し
ます。

▽日時 2月28日(火) 午
後6時30分

▽定員 30組60人(申し込
みが多いときは抽選)

▽場所 アルカスホール
申込・圖 往復はがきに住
所・氏名、年齢、電話番号

を書いて、2月17日(金)
〓消印有効〓までに文化ス
ポーツ室(〒572-8555

本町1番1号)

ミュージカル

「寝屋のはちかづき」

キャラクター絵画展

相関図にも使われている
キャラクターのイラストを
展示します。

▽日時 2月1日~26日

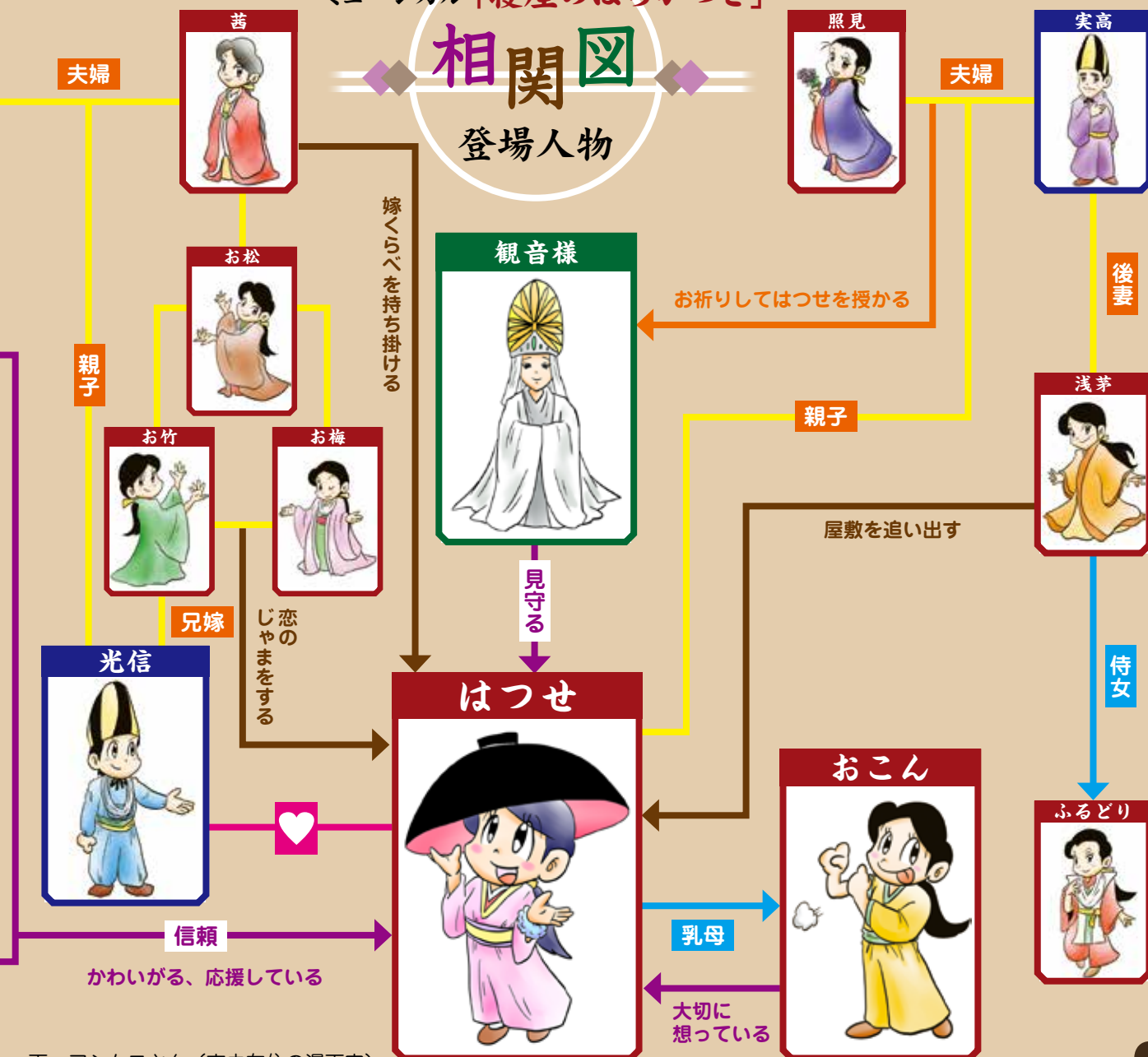
▽場所 アルカスホール
(スタジオ横壁面)

▽作者 アシタモさん(市
内在住漫画家)

▽入場料 無料

圖 アルカスホール

※ミュージカル「寝屋の
はちかづき」について、
詳しくは、市ホームペー
ジ「文化スポーツ室」を
見てください。



「はちかづき姫」の物語

この物語の基になっている「鉢かづき」は、室町時代の作品を中心に編纂（へんさん）された御伽草子に収められた物語の一つです。「はちかづき姫」の物語は、日本の各地方でそれぞれ形を変えて伝えられています。『河州交野郡寝屋長者鉢記』として江戸時代後期に書かれたものの写しが市立中央図書館に所蔵されています。

あらすじ

観音様のお告げて鉢をかぶり、取れなくなった姫が、いろいろな困難に遭いながらも、愛する人と出会い、鉢も取れ、幸せをつかむというお話です。

寝屋のまちなみ

鉢かづき姫の生家である長者屋敷の跡がかつての寝屋村にあったと言われています。寝屋地区は、街路に沿って土堀のある民家が立ち並び古い町並みが残されており、いにしえの時代に思いを馳せることができます。



インタビュー

脚本・作詞・演出



宝塚歌劇団演出家
中村 暁さん

◆出演者への期待やメッセージをお願いします

今回から新しく参加される出演者の方も多いので、役者さんの個性で登場人物の趣きが変わることが楽しみです。熱心に稽古に励んでいただいており、大いに期待しています。

◆「宝塚歌劇団」の演出が「寢屋のはちかづき」にも反映されていますか

宝塚歌劇団の舞台は、場面ごとにセットを転換しますが、アルカスホールの舞台でも同様に変化をつけていきます。その変化は照明であったり、音楽であったりですが、一番の変化をつけてくれるのはもちろん役者さんの演技です。舞台ではLEDの電飾アーチなどを使いますが、こういったところは宝塚風かもしれません。

◆出演者の技量やミュージカル全体の表現力は年々上がっていますか

見ていただいた方のアンケートなどを参考にして、舞台作りを考えています。出

演者の皆さんは、ダンス、声楽、芝居それぞれの分野で活躍されている方に集まっていたので、毎回違った舞台を見ていただけたと思います。

◆ミュージカルを初めて見る人へのメッセージ

ミュージカルは、セリフだけでは伝えきれない思いや気持ちや歌や踊りで表現していきます。演技と照明や音楽の変化が一体となった舞台を楽しんでください。

◆招待する小学生へのメッセージ

光信という若者が、川に身を投げたはつせを助けるところからお話がはじまります。光信は、はつせがどうして鉢をかぶるようになったのか、どうしたら取り除いてやるのかと考え、悩みます。

皆さんも光信になって、はつせの鉢をどうすればよいのかと考えながら、お芝居の中に入ってみてください。そして、はつせがどのように周りの人たちと接していくのかも感じてみてください。

中将



仕えている

清政



しおり



いとせ



おこん役



寢屋川市出身
酒井 愛望さん

◆おこんの魅力、一番見せたい部分

誰よりもお屋敷のこと、はつせのことを日々想い、献身的に仕えている優しい女性だと思います。

自分の身を捨ててまでも、はつせを必死で守りしように、元気づけようとするおこんの覚悟やはつせとの深い絆をお見せできるようにしたいです。

◆今後の抱負

この作品に出会えて、私

自身も「頑張っていれば、必ず幸せをつかめる」ということを学べました。大好きな宝塚歌劇団の演出家の中村暁先生の下、素晴らしい生演奏のミュージカルに出演できることが、何よりも幸せです。舞台人として、一つでも多くの表現ができるように日々精進し、また生まれ育った寢屋川市の発展に何か少しでも携わり、貢献できるように、日々の稽古に励みます。

◆市民へのメッセージ

「また観たい!」「明日から頑張ろう!」と思っていただけるように素晴しい先生方の指導の下、経験豊富な出演者の皆さんやスタッフの方々と共に、精一杯演じさせていただきます。是非、観に来てくださ

